

かさかけ 公民館だより

編集
笠懸公民館編集協力員会
みどり市笠懸公民館
発行
みどり市笠懸公民館
〒379-2311
みどり市笠懸町阿左美1581-1
電話：0277-76-2211
FAX：0277-76-2836
Eメール：kouminkan
@city.midori.gunma.jp



▲わきあいあいと大掃除

穏やかな日差しの中、利用者の会主催の公民館大掃除がコロナ禍の影響で中止が続きましたが、12月11日(日)に3年ぶりに開催されました。
今回はコロナ対策のため密集しやすい屋内の掃除は行わず、屋外の掃除のみでした。集まった参加者は221人で、5グループに分かれ、それぞれ竹ぼうきや熊手などで落葉をきれいにしていました。

3年ぶりに開催！ 交流広がる大掃除



公民館利用者が集まる機会も久々に「久しぶり！」「元気がだった？」と近況を話し盛り上がる姿があちこちで見られました。

終了後、希望者には交流を目的としたポッチャとモルックの体験が交流ホール及び芝生広場でありました。

筆の運びに気持ちも一新

冬休み書道教室

恒例の冬休み書道教室が12月24日(土)、25日(日)の2日間、笠懸公民館で開催されました。

今回も募集で集まった小学生たちが、午前の部(24人)と午後の部(25人)で各2日間に渡り、笠懸書道愛好会10人のみなさんの指導を受けました。1、2年生はフェルトペン(かきかた)、3年生以上は毛筆(書き初め)での参加です。



▲ポッチャ いざ勝負！

8グループに分かれ、グループごとに市スポーツ推進委員の方から説明を受けながら対戦を楽しみました。どちらも簡単ですが奥が



▲新スポーツのモルック

深く、あちらこちらから「ヤッター」「残念」「むずかしい」などの声が聞こえてきて、皆さんの笑顔がとても印象的でした。

き初めならぬ書き納めとなり、冬休みが始まって早々、宿題の一つを会心の出来で片づけ、子どもたちはすっきりとした気持ちで新年を迎えたと思います。



▲“書き納め”に真剣

「SDGsを学ぼう」第4講・第5講

食べてみよう！
昆虫食に挑戦

は昆虫食を広めるのを目的とした会社「FUTURE NAUT」の代表取締役、櫻井蓮さんです。



▲櫻井蓮さん

市民講座「SDGsを学ぼう」の第4講「たんぱく質の持続可能性 コオロギの食用利用」が12月1日(木)に開催されました。講師

参加者には受付でコオロギパウダー入りチップスとコオロギの素揚げが配られました。講師は「話を聞いて食べてみたくなったら講義中でもぜひ食べてみてください」と話し、休憩時間に食べていた方もいました。講義は「なぜ昆虫食なのか」という説明から始まりました。多くの人が好んで食べる肉ですが、肉の生産には大量のエサ(穀物)と水が必要で、温室効果ガス



▲コオロギとパウダー入りチップス

も大量に排出されます。そこで現在注目されているのが昆虫食です。なぜなら昆虫の飼育は肉牛の飼育と比べると、コオロギの場合、エサは12分の1、水は52分の1、温室効果ガス排出量は1780分の1と圧倒的に少なく済むからです。ただ、昆虫食と聞くと大部分の日本人は食べたくないと思うようです。その理由を「食文化」つまり食べ慣れてないからだと言えます。しかし、世界的には昆虫を普通に食べる国は多く、日本でもイナゴやハチの幼虫が地方によっては今でも普通に食べられています。生魚を食べるなんてとんでもないと外国の方は敬遠していましたが、今はマグロ

を中心として世界的に大人気です。昆虫食も皆が食べる機会が増え、美味しいと思えば食べるのが普通になるのではないかと、また「肉でなく昆虫を食べよう」というのではなく、たんぱく質として昆虫も肉と同じように普通に食べる食材になつて欲しいと話していました。

ごみを減らそう
5つのゼロ宣言

市民講座第5講が12月15日(木)、笠懸公民館交流ホールで開催されました。講師はみどり市生活環境課の板谷盛明さんで、「みどり5つのゼロ宣言」ってなに？」と「どこまでできる？ごみの分別、ごみの減量」をテーマに熱く話されました。

みどり市では5つのゼロ宣言を達成するために、インフラ強化と人材育成の両面から取り組み、未来の子

- ＜みどり5つのゼロ宣言＞
- 宣言1 自然災害による死者「ゼロ」
 - 宣言2 温室効果ガス排出量「ゼロ」
 - 宣言3 災害時の停電「ゼロ」
 - 宣言4 プラスチックごみ「ゼロ」
 - 宣言5 食品ロス「ゼロ」

どもたちが笑顔で暮らせるよう官民一体の協働をめざすとしています。

ごみの分別、減量化については、市民1人当たりのごみの排出量をデータに示し、家庭から出るごみのうち約4割が生ごみなので、これを減らすために生ごみ処理容器、生ごみ処理機器等を利用することを奨めています。みどり市には生ごみ減量化対策補助金がありますので、利用される方は、生活環境課までお問い合わせください、と話していました。

講座の終了後、閉講式が行われ、令和4年度のみどり市市民講座は終了となりました。

笠懸公民館で活動しているサークルの紹介動画をyoutubeで配信中！



(KPOP)

続々制作中です
どうぞご覧ください！

お手持ちのスマホ等で右のQRコードを読み取ってください



木の実で手作りリース 小学生クリスマスリース教室



▲飾りつけに熱中

笠懸公民館美術工芸室で12月4日(日)に「木の実で作る！小学生クリスマスリース教室」が開催されました。クリスマスリースはクリスマスに玄関や部屋に飾るリング状の飾りです。小林房江さん(6区)の指導の下、藤の蔓で編んだベースリングに色々な木の実を飾り付けていきます。

木の実は松ぼっくりやどんぐり、シダーローズ、モミジバフウ、シャリンバイ、千日紅など十数種が用意され、中にはシナモンもあり、室内には良い香りが漂いました。

それらの木の実をグルーガンという道具でベースリ



▲完成したステキなリース

ングに接着させますが、電熱で特殊な樹脂を溶かすため、取り扱いには注意が必要です。そのため、今回3年生以下の子どもは保護者同伴でしたが、子どもよりもお母さんたちの方が、作業に熱中しているようでした。

子どもたちは小さな手で器用に木の実をリングに飾り付けていきます。どれも個性的でセンスのある飾り付けで、最後に思い思いのリボンをつけて、仕上げを行います。

完成したクリスマスリースは、今回参加した24組のご家庭のクリスマススムードを盛り上げてくれたのではないのでしょうか。

お母さんと一緒教室でクリスマス

楽しみだね クリスマス準備



▲カラフルなリース

12月2日(金)クリスマス準備が公民館和室で行われました。

今回は「リース作り」です。子どもたちはすっかり慣れて、名前を呼ばれると「ハイ」と元気に返事ができるようになりました。先生が折り紙で作ってくれた色違いのリースを、嬉しそうに見比べながら、好きな色を選んでいました。それに星やリボンをつけます。穴があいたリースの真ん中には、松ぼっくりを吊るしました。かわいいサンタさんには鈴を付けて出来上がりです。リースは次回の「クリスマス会」に飾るの

で、今日は先生に預けます。リース作りが終わった後は先生が紙芝居をしてくださいました。ボランティアで来てくれた山口先生の「英語で遊ぼう」もあり、仲良くみんなでクリスマス会の歌をうたいました。

次回の「クリスマス会」が楽しみです。

サンタさんだあ〜♪ クリスマス会



12月9日(金)公民館和室でクリスマス会を行いました。親子みんなでクリスマス会の飾り付けをすくとあつという間にクリスマススムードになりました。ジュースで乾杯し、サンドイッチを食べながら、クリスマスソングを歌ったり、タンバリンやカスタネットで合奏したり、にぎやかなパーティーになりました。根岸先生の手品に驚いたり、エプロンシアター「大きなかぶ」では子どもたちと一緒にかぶを抜いたり、拍手と笑い声に包まれました。お母さんたちの大型絵本の読み聞かせでは、子どもたちは近くに寄って真剣に見入っていました。

鈴の音とともにサンタクロースが登場すると、みんなびっくり!! サンタクロースから一人ひとりプレゼントを手渡されると、神妙な顔で受け取っていました。笑顔いっぱい楽しいクリスマス会になりました。



▲プレゼントは何か



▲サンタさんと一緒に

健康で長生きするために

高齢者大学 第6講

11月17日(木)ブンエイホールPALで高齢者大学第6講「健康寿命の延伸」が桐生保健福祉事務所の女屋さと志さんを講師に開催されました。

「健康寿命」は日常生活を楽しく健康的に過ごせる年齢のことを指していて、「平均寿命」は、現在0歳の人の平均余命のことを指します。この健康寿命と平均寿命との差を小さくしていくことが大切です。

人の心と体の働きが弱くなってきた状態をフレイル(虚弱)と呼びます。群馬県でも医療費や要介護率などの数値が、全体として75歳を境に上昇していて、フ



▲女屋さと志さん

レイルの傾向を示す方が増えているそうです。県では、フレイルを予防するために、生活習慣を見直し、肥満による高血圧や高血糖などの危険因子を取り除くことを勧めているそうです。

なお、食育とは「生きる力」を培い、生きる上での基本となるもので、知育・徳育・体育の基礎となるそうです。

高齢期の健康づくりはしっかりと食べてフレイル予防をしていくことが大切で、現在、フレイル予防のために「脂肪が少ない」「四季により食材が変わる」などの点で和食が評価されているとのこと。

心と体の働きが弱くなってきた「フレイルでは？」と感じたら、バランスの良い食事の摂取など、できることから取り組んでいきましょうと、受講者に伝えて講義は終了しました。

防災を考える

26

誰も取り残さない防災

最近のドラマなどでも話題になった聴覚障がいですが、防災においてもバリアフリー、ユニバーサルデザインといった高齢者、障がい者、避難行

動要支援者への対応の必要性は高まっています。

東日本大震災では被災地全体の死者数のうち65歳以上の高齢者が約6割を占め、障がい者の死亡率は被災住人全体の死亡率の約2倍というデータもあります。

まずは警報が聞こえない方や一人で避難所に行けな

い方がいることを知りましょう。そして、守るためには、助けるためにはコミュニケーションツールもデジタルなものからアナログなものまで考えて、他者を思いやる気持ちも備えましょう。

受講生募集!

教室の詳細はこちらをご覧ください



コノドント館学芸員が解説 よく分かる大間々の歴史

講	開催日	タイトル	内容
1	3月4日(出)	大間々街散歩	街並みや文化財を紹介して大間々の歴史を学びます。
2	3月11日(出)	商人の町 大間々	商業で栄えた近代から現代の大間々の様子を紹介します。
3	3月18日(出)	古写真やスケッチで見るとみどり市の風景	昔の風景から大間々の移り変わりを中心に解説します。

- ・ 時間：10時～11時 (各講座共通)
 - ・ 会場：笠懸公民館
 - ・ 対象：市内在住・在勤・在学の方
 - ・ 参加費：無料
 - ・ 定員：各講座20人 (先着順)
 - ・ 申込方法：2月18日(出)から受付を開始します。
- 笠懸公民館の窓口または電話で、名前、住所、連絡先、希望講座名(複数可)をお伝えください(受付時間9時～17時)。

「作ってみよう! ウクライナ料理」参加者募集

ウクライナろう者避難民のみなさんと交流しながら、ウクライナの伝統的なスープと焼き菓子を作ります。手話も学びましょう。 ※料理は持ち帰りです。

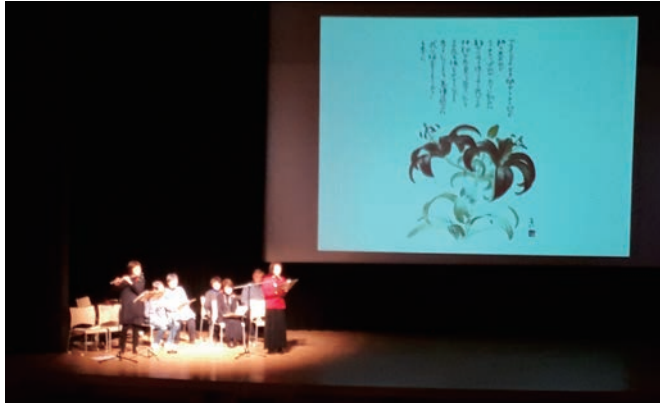
- 日時 令和5年3月19日(日) 13時～16時
- 会場 笠懸公民館 料理実習室
- 対象 市内在住・在勤・在学の小学生以上の方 (小学4年生以下は保護者の方も参加をお願いします)
- 定員 24人 (先着順)
- 参加費 500円(材料費)※当日集金します。
- 持ち物 エプロン、三角巾、ハンカチ、上履き、スープ・焼き菓子を持ち帰る容器、ビニール袋、手提げ袋
- 申込方法 笠懸公民館の窓口または電話・メールで、名前、年齢(学生の場合は学年も)、住所、連絡先をお伝えください。
- 申込期間 2月21日(火)～3月12日(日)(受付時間9時～17時)

手話通訳を介した教室です。

メール QR



描くことが生きる力に 高齢者大学 第7講と閉講式



▲サポーターによる朗読と演奏

り、その後の絶望の日々、そして字を書きたい!と 思った時までのことでした。 富弘さんが詩画に目覚める 過程を見ているようでした。 演奏と朗読の後は富弘美 術館館長で星野富弘さんと 同級生の聖生清重さんによ る講演「感動は生きる力」 がありました。

高齢者大学の最終講である第7講「星野富弘さんの詩やエッセイの朗読」が12月20日(火)に開催されました。まず富弘さんの作品がスクリーンに映され、朗読ボランティアの方々によるオカリナやフルートの演奏とともに星野富弘さんの詩やエッセイの朗読から始まりました。それは手足の自由を失った事故の日から始ま

だけを見ている人生。食べ るのはもちろん排泄も 人に頼らなければなら ない。そんな日が3日 後、30日後、3年後、 30年後、これが死ぬま で続く。朝なんか来な ければいい、死にたい。 まさに「絶望」の日々 を送っていた富弘さん。 字を書きたいと思っ たのはお見舞いの返事 をしたいと思っただけ からです。最初に書いてみた のは53文字。たった53 文字を口を使って書く のに丸1日かかりまし

た。疲れ果えていたのです が、次の朝にはもつと書き たいと思っただけです。 富弘美術館には感想ノ ートがあります。来た人が自 由に書き、誰でも見るこ とができ、今は72冊目です。 「勇気が出た」「母に電話し よう」「手術を決意した」「自 殺をやめた」など、本当に たくさんの方が富弘さんの 作品を見て生きる力をもら いました。聖生さんは、こ のノートを富弘美術館の 「宝」だと話していました。

最後に、聖生さんによる と、意外にも富弘さんは昔 からやんちゃで人を笑わせ るのが好きだったそうです。 小さい頃のおどける富弘さ んの写真にはびっくりしま した。確かに深刻な状況な のにくすつと笑える作品も 多いですよね。絶望の中か ら生まれた富弘さんの詩画 「人を喜ばせたい」という 気持ちが多くの人を感動さ せるのかもしれない。

第7講終了後、閉講式が 行われました。皆勤賞の受 賞者は36人でした。

いっしょに考えませんか? 公民館のこと

みどり市公民館大会 実行委員 募集!

公民館は、市民のみなさんにとって一番身近な学び・活動の場です。公民館大会は、公民館活動を豊かなものにするための大会です。いっしょに公民館について考えませんか。

◇応募資格

みどり市在住・在勤者で、企画会議(主に夜)と大会(令和5年度に開催予定)に参加できる方

◇内 容

公民館大会の内容の企画や当日の大会運営

◇申込期日

2月28日(火)

しめ縄作りと閉校式 岩宿の里米っこクラブ

12月10日(土)「岩宿の里米っこクラブ」では今年度の締めくくりとなる、しめ縄作りと閉校式を行いました。 家内安全を願って作るしめ飾り。古代米の会の方から指導を受けながら、わらをねじりながら編んでいき、飾りをつけて出来上がり。

閉校式では8ヶ月間の種まきから稲刈り、脱穀までの様子をスライドショーで見ながら今までの活動を振り返りました。また会員が普段から雑草取りをしていた話を聞き、参加者もお米を作る楽しみや大変さを実感したようです。外に出て、



▲しめ縄を手に大集合

出来上がったしめ縄を持って記念撮影をしました。 最後は毎回お楽しみみの古代料理研究会のお母さんが作ってくれるお弁当。今回は手づくりこんにやくの入ったおでんと天ぷらそば、古代米のあんぴん(大福餅)でした。

有事に備えて 避難訓練コンサート

第6回避難訓練コンサートが12月17日(土)午後1時30分からグンエイホールP.A.Lで群馬県総務部危機管理課、みどり市危機管理課、桐生清桜高校和太鼓部の協力で行われました。コンサート中に何らかの緊急事態が発生したと想定した避難訓練です。文化ホールスタッフの避難誘導訓練を目

的として観客も参加します。中断するのがもつたいないくらしいの桐生清桜高校和太鼓部の迫力ある演奏の途中で緊急地震速報が流れました。「座席の間に身をかがめて頭の上をカバンなどで保護してください」とアナウンスがあり、揺れが落ち着いたところで観客全員がスタッフの誘導で屋外に避難しました。

その後、ホールに戻り中断された和太鼓部の演奏も最後まで楽しむことができ



▲避難訓練に参加する観客

ました。終了後は出口で非常食が配られました。

コラム 豆電球



「なぜトンカツだけフライと呼ばないの？」

トンカツのカツはフランス語のコートレット、英語読みはカットレットが語源だ。もともとは骨付きあばら肉のことを指していた。

その後、カットレットは仔牛や豚の切り身を平たく伸ばしたものに、小麦粉、溶き卵、そしてパ

ン粉をまぶしてバターで焼いたソテーに近いイギリス料理になった。

このカットレットが現在のトンカツの形に変身したのは、いちいちバターでソテーするのは面倒くさいので、テンプラのように油で揚げてみてはと考え、カツレットという名前がメニユーに加えたところ大人気となり、またたく間に日本全国に広まったようだ。

カツレットがトンカツという名前に変わったのは、昭

和に入ってからで、上野の飲食店が命名したそう

だ。フライは魚や肉、野菜などをたつぷりの油で揚げたものを指すようだ。

フライが西洋料理の揚げ物の総称なのに対し、カツという言葉は、語源が骨付きあばら肉だったことからわかるとおり、ビーフカツ、チキンカツ、トンカツなど、肉の揚げ物にだけ使われている。

ご協力ありがとうございました！

ウクライナ避難者支援募金
18,000円

12月6日に
市内の避難者へ贈呈しました。

みどり市公民館利用者の会

白熱した決勝戦！ みどり市オープン 団体卓球大会

3年ぶりに第13回みどり市オープン団体卓球大会が12月18日(日)に桐生大学グリーンアリーナで開催されました。

当日は棄権が16チームもありましたが、小学生から大人まで全68チームが同じグループで戦うのはこの大会の楽しみなところ。真剣の中にも参加者が楽しんで戦っている姿がとても印象的でした。

男子決勝はとてもレベルが高く、会場中が引き込まれていました。結果は次のとおりです。



▲火花散る戦い！

- | | |
|-------------|-------------|
| 男子Aグループ | 優勝 大間々OB |
| 準優勝 小倉クラッチA | 3位 さくまんず |
| 男子Bグループ | ボブクラブA |
| 優勝 | JUTOKUジュニアC |
| 準優勝 笠懸中デルタ | 3位 梅田中A |
| 女子Aグループ | JUTOKUジュニアB |
| 優勝 桐生清桜高校A | 準優勝 東雲会 |
| 3位 桐生清桜高校B | 桐生高校A |
| 女子Bグループ | 優勝 |
| JUTOKUジュニア | 準優勝 笠懸南中B |
| 3位 広沢中A | 相生中 |

☆クリスマスをお みんなでお祝い 笠懸図書館

笠懸図書館で12月3日(土)「クリスマスおはなし会」が開かれました。人数制限がある中、未就学児の子どもとその兄弟、保護者7組の家族が参加しました。読み聞かせサークルあり

の会により、パネルシアターやどんぐりのクイズ、「おおきくおおきくおおきくなあれ」「ぐりとぐらのおきやくさま」など大型紙芝居や絵本の読み聞かせが行われました。子どもたちのかけ声や笑い声で会場は和やかな雰囲気でした。
みどモスとの写真撮影やクリスマスプレゼントもあ



▲ケーキをどうぞ!!

り楽しい時間を過ごしました。

このころの ひろば

このコーナーは、市民のみなさんの交流の場です。サークルの会員募集やイベントのお知らせ、投稿など、何でも原稿をお寄せください。(しめきり毎月10日)

会長杯大会

みどり市グラウンド・ゴルフ協会(柴田修次会長)は、

会員数199人で、高齢化で会員数が減少している協会が多い中、会員を増やしている活発な協会です。あ

みどり市グラウンド・ゴルフ協会(柴田修次会長)は、会員数199人で、高齢化で会員数が減少している協会が多い中、会員を増やしている活発な協会です。あすかホールグラウンドゴルフ場を中心に活動しています。

12月3日(土)、サッカーW杯での日本の活躍で盛り上がる中、第11回会長杯大

会が開かれました。参加者119人(男子52人、女子67人)で、3ラウンド24ホールで打数を競い、熱戦が繰り広げられました。

成績(敬称略)

女子の部

- 1位 高野 千歳 49打
- 2位 川端トシ子 53打
- 3位 丸本壽美子 55打

男子の部

- 1位 栗崎 貢 51打
- 2位 手塚 忠男 52打
- 3位 佐藤 昌朝 53打

総合優勝の高野さんは、協会杯と合わせ、2冠を達

成です。

協会では、新しい会員を募集しています。初心者も大歓迎です。ゴルフ経験者は同じ要領でできますから始めてすぐに入賞という人も多いです。

問い合わせ

松井栄三 ☎(76)4883まで



四季の会 一月句会



煮ごりの夫の好物出す昼餉
寒肥へを庭の花にもやりにけり
産休や湯たんぽ抱え本を読む
吉と出るおみくじを引く初詣
いつの間にか仕事始めとなりけり
鳴き初めの吾が児をあやす翁と婆
老梅の神社に夫と行きにけり
ふで初めアニメの原稿広げをり
書き初めや夫の形見の墨香る
猫が待つ息子の来たるお正月
成人式和服の孫を待ちにけり
大声の孫ら三人歌かるた
慎ましく福寿草咲く狭庭かな
福ぶくろ寄席の帰りに一つ買ふ
沢庵の重石を夫に頼む朝
初メール娘夫婦が来ると言ふ
三箇日猫と仲良く過ごしをり
縫い初めに京の針出す屋下がり
開運の来宮神社初もうで
韓国の雑煮を供ふ朝かな
懐メロのテレビ釘付け宿下がり
冬夕焼け海を染めをるサンセット
左義長のけむり真直ぐに昇りをり
床の間の鏡餅をる一重ね
禅寺に七草粥を食べに行く
龍の玉実家の庭で見つけをり
届きをる初荷の封書骨董屋
小豆がゆ岩塩の味いと旨し
空っ風洗濯物も凍りつく
寒月や手水冷たき夜の廁
御用始め隣人と会ふ町役場
妻のるす女礼者と長詰
大黒様の使ひが来たる嫁が君

- 荒井鳳仙花
- 国木美代香
- 中野千鶴
- 宮本風花
- 糸井良俊
- 松島陽春
- 平川秋桜
- 佐藤由美香
- 高野春蝶
- 山本草秋
- 金井英磨
- 高野光詢
- 糸井佳醉
- 富田和
- 前原紫蘭
- 童鳥海
- 糸井梅光
- 横倉雅
- 韓百日紅
- 新羅光海
- 石原青蓮
- 冠二郎
- 徳田夕子
- 村田紅蘭
- 糸井初音
- 小林狐一
- 吉田和義
- 小林華笑
- 椋沢春蘭
- 宇野由希子
- 村田小町
- 宇野勘大
- 金光月

御朱印めぐり 御朱印レディー



▲大日堂隣の不動滝

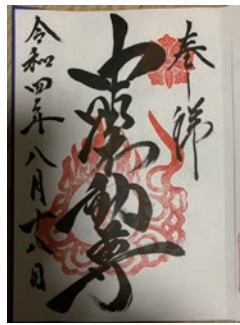
福島県にある「中野不動尊大正寺」は、開山八百年、日本三不動の一つに数えられています。

境内には、洞窟があり、その中の三十六か所の単座には、三十六童子が一つずつ祀られて洞窟めぐりができます。また、恵明道人も入ったとされる不動滝やと

げぬき地蔵、たにしヶ池などもあり散策するとパワーを頂けます。その不動滝は2月に「歳祭り」で水行が行われています。

散策で疲れたら、無料で利用できる休憩所、茶屋「もしか庵」もあり、「十貴茶」という薬草茶を用意して参拝客を迎えてくれます。

ご本尊の大日如来は20年に一度「開帳され、前は2020年にあつたばかりでした。次回のご開帳の際



▲中野不動尊の御朱印

には元気で訪れたいと思います。

テクテクお城歩き(35)

根城 歩遊人

青森県八戸市にある根城は日本100名城のひとつです。資料によれば根城の創築は鎌倉時代までさかのぼるようです。南北朝時代に国司代に任じられた南部師行が1334(建武元)年に築城し陸奥の南朝方の一大拠点となったとあります。

南部氏は甲斐の国(山梨県南部町)に拠点を置いた有力な鎌倉御家人であり、南北朝時代には北畠顕家に従い、奥州における南朝方

の中心的な存在となり活躍したとあります。築城は1334年頃で広大な平城で8つの曲輪があり、薬研堀によって区切られています。城は師行の子孫が1627年、岩手県遠野市へ移住するまで約300年続いたといえます。現在の城は復元ですが、主殿や工房、長屋などの建物は、中世の貴重な城館とい



▲堀切

は、中世の貴重な城館とい

笠懸短歌サークル

十二月例会より



マジシャンの技に魅せられトランプを久に持ち出し明日を占ふ
初孫と娘一家は帰りゆき季節はづれの台風一過

一人身の心持ち寄り晩秋に五人の老嬢ハンバーグ食む

「オキザリス」十葉に耐へ季節を待ち冬、晴れ午後ピンクに染まる

カラスには一粒たりとも食はさじと柿畑に置く超音波案山子

廃品を買ひとる店が町に出来今日は鉄材を運び込む見つ

上村 征子

加藤 康子

久保田茂子

近藤ふさ子

関口 定夫

平山 勇

ちよっと一息



昨年岩宿の里米っこクラブ「古代米を作るう」を4月から12月までの全8回取材をさせていただいた岩宿博物館、古代米の会の方々には大変お世話になりました。お米が出来る工程は知識としては知っていましたが種まきから脱穀、しめ縄作りまで実際に体験すると、その大変さがわかり自分は何も知らなかったと50代半ばで気づかれました。

参加の親子も楽しみながら体験でき、関係者の方々、お父さんお母さんたちが子どもたちに、昔ながらの農業体験や自然を感じてほしいという思いが伝わってきました。Wi-Fiの電波が飛んでいる教室で勉強することも大切ですが、トンボやバッタの飛んでいる田んぼでお米を作る体験はきつと貴重なものになるでしょう。

最後に古代料理研究会の皆さんの毎回心のこもった料理は、ほんとうにおいしかったです。感謝です。

(三ヶ)



▲遺跡全体模型